

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-(ア)	生物多様性の保全		
施策	①自然環境の保全に向けた調査研究及び推進体制の構築			
(施策の小項目)	○在来種の保護・保全に向けた研究			
主な取組	うちなーロードセーフティー事業	実施計画 記載頁	12	
対応する 主な課題	○本県は亜熱帯性気候のもと、サンゴ礁が発達した青い海に囲まれ、貴重な野生生物が数多く生息しているが、本土復帰後からの社会資本整備等により多くの自然環境が失われ、沖縄の生物多様性が失われていくことが危惧されている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	やんばる地域及び八重山地域の西表島等において、生物にふさわしい環境で生息するための道路環境の改善を行い、ロードキル防止、道路利用者の走行に対する安心感を確保するための対策を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			基本計画	実施計画	実施計画	→	県
担当部課	土木建築部 道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
うちなーロードセーフティー事業	10,000	5,810	ヤンバルクイナのロードキル対策について、モニタリング・定点観測調査業務、基本計画策定業務を実施した。	一括交付金(ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
基本計画			基本計画の策定	基本計画の策定
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	ヤンバルクイナのロードキルにおける調査業務を対象区間において実施し順調に基本計画を策定することが出来た。(計画値 基本計画の策定、実績値 基本計画の策定)。基本計画を策定することができ、予定通り計画が推進することが出来た。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
うちなーロードセーフティー事業	25,400	対象区間においてモニタリング・定点観測調査業務の実施。引き続き実施計画策定等を推進していく。 計画:平成27年度実施計画策定	一括交付金(ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

事業初年度であったが、地元住民等関係機関との調整を潤滑に進めることが出来てでき、基本計画を策定することができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
沖縄の絶滅種数	19種 (23年度)	19種 (25年度)	維持	0種	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
やんばる地域及び西表島のロードキル件数の減少	49件 (24年)	41件 (25年)	51件 (26年)	↗	—
状況説明	実施計画等の策定中。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・基本計画策定の段階では、地元住民等関係機関との調整が円滑潤滑に行われたが、実施計画に当たっては、より細部の内容を検討する必要があることから、地元住民等の関係機関との調整に時間を要することが考えられる。
・より効果をもたらす為に、ロードキル多発箇所や、ロードキル発生の原因の検証が必要と考えられる。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・実施計画を策定するに当たり、関係機関との調整の場を多く設け、計画通りの進捗を図る。
・ロードキル多発箇所、発生原因についての研究。

4 取組の改善案(Action)

・関係機関との調整を密に行い、順調に計画が進捗していくよう図る。
・ロードキル多発箇所、発生原因について、関係機関や地元住民からの聞き取り等を行い、検証する。